



豊かな自然環境の中で 仕事と子育てのバランスのとれたまちづくり



平成29年度施政方針

平成29年第1回定例会3月定例会議において、澤井敏和市長が発表した施政方針の内容をお知らせします(原文を基に掲載)。

本日ここに、平成29年あきる野市議会第1回定例会3月定例会議の開催に当たり、市政運営の基本方針に関する所信の一端を申し述べ、市民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

私は、市長就任以来、安心安全なまちづくりに向けて、積極的に地域や各種団体の活動の場を通じて、市民の皆様との対話を通じて、地域の実情や課題などについて、率直なご意見を伺ってまいりました。また、昨年開催いたしました地域懇談会においても、市政全般について様々なご意見やご提案をいただいたところであります。

人口減少や少子高齢化が進行する中、市では、総合計画の着実な推進を図るため、「あきる野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、「豊かな自然環境の中で仕事と子育てのバランスのとれた職住近接のあきる野市」を基本理念として、市民の皆様や関係団体などとの連携の下で、「地域経済の活性化」や「子育てしやすいまち」の実現など、持続可能な地域づくりに向けて取組を進めております。

一方、昨年は、全国各地で大規模な地震災害や水害が発生し、甚大な被害をもたらしました。市民の皆様様の生命と財産を守るために、災害にどのように向き合うのか、改めて防災と減災対策の重要性を実感しております。

安心安全なまちづくりを進めていくために、議会の皆様はもとより、町内会・自治会や防災・安心地域委員会など関係機関との連携を更に強化するとともに、市民の皆様との協働、対話を大切にしながら、地域課題の解決に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

そこでは、あきる野市総合計画等を踏まえた6つの基本政策について申し上げます。

人口減少に対する取組の推進

安心して子どもを産み育てられるまちづくりに向けて、あきる野ルビア内に子育て支援拠点施設の整備を進めてまいりました。さらに、第2期工事として、子育てひろばや一時預かりスペース、トイレ・授乳室などを整備し、妊娠前から子育て期まで、ワンストップで切れ目のない子育て支援サービスの提供ができるよう取り組んでまいります。

また、「あきる野創業・就労・事業継承支援ステーション Bi@Sta」等の関係機関と連携し、就労を希望する皆様を支援してまいります。

保育所の待機児解消など、保育環境の整備に向けては、建て替えや改築などの施設整備に対する支援や幼稚園から認定こども園への移行を支援することにより、約60人分の受入枠の拡大を図るとともに、保育士の確保

に向けた宿舍借上げ支援事業等を実施してまいります。また、子どもの学習支援事業の対象学年の拡大を図るとともに、地域子ども育成リーダーへの活動支援を推進してまいります。



地域子ども育成リーダーの活動

さらに、公立阿伎留医療センター敷地内に病児・病後児保育施設を整備し、平成30年度の開設を目指してまいります。

福祉の充実

人口減少・超高齢社会を迎える中で、本市においても、高齢者世帯や認知症患者の増加などが予想されます。高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、介護予防・日常生活支援総合事業の実施など、高齢者を支える体制の整備を進めてまいります。

具体的には、介護予防・生活支援サービス事業を実施するとともに、高齢者が要介護状態にならないよう、サロン型介護予防教室や介護予防リーダーの育成などにも取り組んでまいります。

認知症対策では、新たに認知症サポートのスキルアップや認知症カフェへの支援に取り組むなど、認知症疾患への理解を

2面につづく